

令和 2 年度第 1 回  
高知県医療審議会 医療従事者確保推進部会 審議概要

日時：令和 2 年 7 月 8 日（水）18 時 30 分～20 時 00 分

場所：高知県庁 2 階第二応接室

出席：委員 13 名（野並部会長、藤原副会長、川井委員、楠瀬委員、倉本委員、先山委員、佐野委員、島田委員、執印委員、野嶋委員、野村委員、浜口委員、脇口委員）

審議概要

1 開会

2 協議事項

- (1) 医師養成奨学貸付金受給医師の令和 2 年度配置状況について  
資料 2 により事務局から説明

【質疑なし】

※ 協議事項（1）については承認された。

- (2) 2021 年度専門医募集におけるシーリングについて  
資料 3-1、3-2、3-3 により事務局から説明

【質疑】

(川井委員) 地域枠の学生はシーリング外になっているのか。

(県) お見込みのとおり。

(先山委員) 必要医師数の算定には働き方改革は考慮されているのか。

(県) お見込みのとおり。必要医師数（勤務時間調整後）は、働き方改革考慮後の数となっている。

(執印委員) 外科など医師が減少している診療科もシーリングの対象外か。

(県) 外科は全国的にも減少しており、シーリングの対象となっていない。

※ 協議事項（2）については承認された。

- (3) キャリア形成プログラムの変更及び追加について  
資料 4 により脇口委員、島田委員から説明

【質疑なし】

※ 協議事項（3）については承認された。

3 報告事項

（1）医師確保計画及び外来医療計画策定の報告について

資料5、資料6により事務局から説明

（執印委員） 産科の医師確保について、資料5で安芸医療圏の目標は3名とあり、あき総合病院のことになるが、分娩件数は年間約230件、月に約20件。2人では毎日勤務しないといけなくなり、働き方改革を考慮して3名になっていると思うが、こういうふうな数の合わせた方では、実際と合っていないように思う。幡多けんみん病院の場合、6名とあるが、実際（現場の医師は）2名くらいですごく厳しい状態。

もう1点、外科の医師について、検討するとあるが、検討するとはどういう意味か。積極的にやりたいという意味か。

（県） そのとおり。外科の奨学金の特定科目に追加する方向でこれから検討していく。計画が承認されたのでこれから実行していくということ。。

（浜口委員） 外科というのは専門医制度の外科専門医も含めた外科という意味か。

（県） 基本領域の外科は専門医の外科を包含しているので、そういう意味ではそのとおり。

（先山委員） 外科は全国的に少なく、高知県もH10からH30で17%減となるなど少ない。

減少が著しい外科の場合、全国的にシーリングがかかっているのか。

（県） 外科はそもそもシーリングの対象外となっている。

（先山委員） CTの台数が多く、医療被曝が多いからということですかと思うが、MRIが全国より多いということはむしろ先進県という風に考えられないか。

（県） どれくらいが適正かということには書かれていない。うまくMRIを使っていこうという趣旨。どれくらいが多いかということにはなかなか言えないと思う。

（脇口委員） ほかに減っている診療科はないか。

（県） 全体的に増えてきているが、やはり内科と外科が減っている。

（脇口委員） 内科は一般内科のことでよいか。

（県） いわゆる一般内科のこと。専門分化が進み、細分化された分野の先生が増えたので相対的に総合内科が減った。

（脇口委員） 総合診療科がないが、一般内科の先生が減ってくると、一般外来をやる内科の先生が将来減ってくるという気がした。

（2）令和元年度診療応援派遣実績及び令和2年度の応援状況について

資料7-1、資料7-2により事務局が説明

【質疑なし】

（3）令和3年度から研修を開始する研修医の募集定員の報告について

【質疑】

- (島田委員) 県内の研修病院の定員は99名で前年度からマイナス5名となっているが、高知大学や自治医大の先生を足すと100名を超すと思う。(定員の追加をしなかったことは)もったいないと思ったが、県外に出ていく人のことは黙認せざるを得ないということなのか。枠だけでも残したほうがよかったのではないか。
- (県) 実際に県内で臨床研修を希望するのは70名を下回るので、各臨床研修病院の募集の希望を聞き取った結果、現在の定員で十分補えるということになった。
- (倉本委員) ここ5、6年の良いところで62人ないし64人くらい。60名を下回る時もあり、昔は40台の時もあった。研修内容を担保して、定員が増えると医師が来るかもしれないので定員を増やすという考え方はあると思うが、なかなかそれ以上には進まない。99名というパイにはなかなか到達しないと思う。

4 その他

- (執印委員) 知事との面談の機会をぜひとも作ってほしい。県内で研修したいという意識があがるので、色々あって大変だと思うがよろしくお願いします。
- (県) 県も調整したいと思っている。9月5日を予定しているが、知事を含めたシンポジウムを学生達と開きたいと思っており、知事と学生の意見交換をしたいと思っている。
- (脇口委員) 今度のもは夏期実習の代替で実施するので、知事と学生との意見交換にあまり長い時間を割くことはできないと思う。知事が直接会の場に出てくる、そういうことを考えていただきたい。意見交換には十分な時間がとれないので別の機会を是非考えていただきたい。
- (県) 地域枠の医学生との懇談については別途協議させていただきたい。